

令和7年度 市民病院 運営方針

1 組織目標

- (1) **地域の基幹病院として、高度かつ専門的で質の高い安全な医療の提供と地域完結型医療を推進し、信頼される病院をめざします。**

地域の医療水準の向上と診療機能の役割分担を促進するため、最新の医療機器を活用し高度で専門的な診療体制を整備するとともに、地域の医療機関や介護サービス事業者等との連携を強化し、地域完結型医療を推進します。

- (2) **職員全てが心身の健康を維持し、働きやすい職場環境の整備を進めます。**

良質かつ適切な医療を継続して提供するため、医師や看護師を始めとした医療従事者の確保と育成に努め、院内で従事する職員全てがいきがいを持って働くことができるよう職場づくりを推進します。

- (3) **公営企業として、健全な経営に努めます。**

第3次中期経営計画に基づき、経営基盤を強化し、健全な経営に努めます。

2 重点施策・重点事業

- (1) **安全で高度な専門医療の提供**

手術前の患者さんの体調を確認し不安に寄り添うとともに、より安全に麻酔を実施するため、麻酔科専門医による術前外来を開設します。また、重複投与や飲み合わせなど、処方薬にかかる電子的なチェックを可能とする電子処方箋を運用し、患者さんにとって安全な医療を推進します。

また、これまで整備してきた心臓病センターや手術支援ロボットなど、高度で専門的な医療の提供体制の強化を継続するとともに、医療職に必要な知識や技術の習得に努めます。

- ① 安全な医療の提供体制整備
- ② 医療職の資質向上に資する研修等の参加支援及び企画
- ③ 外来診察室の整備

- (2) **地域完結型医療の推進**

地域医療支援病院として、地域住民が住み慣れた地域で切れ目のない医療が受けられるよう、地域医療の第一線を担う、かかりつけ医などの医療機関との連携強化に努め、地域の医療機関と市民病院のそれぞれが担う機能を分担し、地域完結型医療を推進します。

- ① 地域完結型医療の発展に向けた医療機能分化の推進

(3) 経営強化による持続可能な病院事業運営

厳しい経営状況が続く中、今後の人口減少や少子高齢化の急速な進展に伴う医療需要の変化を踏まえた資源の配分、収益確保や経費削減への取り組みを進め、地方公営企業として持続可能な病院事業の運営に努めます。

- ① 第3次中期経営計画に基づく事業進捗の管理と計画の推進
- ② 安定的な収入の確保
- ③ 経営改善に向けた収益確保・経費削減への取り組み